

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2020.4.27-5.3

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

10:12 イスラエルよ。今、あなたの神、主が、あなたに求めておられることは何か。それは、ただ、あなたの神、主を恐れ、主のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、主に仕え、

10:13 あなたのしあわせのために、私が、きょう、あなたに命じる主の命令と主のおきてとを守ることである。

10:14 見よ。天ともろもろの天の天、地とそこにあるすべてのものは、あなたの神、主のものである。

10:15 主は、ただあなたの先祖たちを恋慕って、彼らを愛された。そのため彼らの後の子孫、あなたがたを、すべての国々の民のうちから選ばれた。今日あるとおりでである。

10:16 あなたがたは、心の包皮を切り捨てなさい。もううなじのこわい者であってはならない。

10:17 あなたがたの神、主は、神の神、主の主、偉大で、力あり、恐ろしい神。かたよって愛することなく、わいろを取らず、

10:18 みなしごや、やもめのためにさばきを行ない、在留異国人を愛してこれに食物と着物を与えられる。

10:19 あなたがたは在留異国人を愛しなさい。あなたがたもエジプトの国で在留異国人であったからである。

10:20 あなたの神、主を恐れ、主に仕え、主にすがり、御名によって誓わなければならない。

10:21 主はあなたの賛美、主はあなたの神であって、あなたが自分の目で見たとこれらの大きい、恐ろしいことを、あなたのために行な



われた。

10:22 あなたの先祖たちは七十人でエジプトへ下ったが、今や、あなたの神、主は、あなたを空の星のように多くされた。

「主を恐れ、…主の道に歩み、主を愛し、…主に仕え…主のおきてを守る」ということが命じられています。イスラエルが新しい地で生き抜くために必要なことは、これだということです。新しい地は、未経験の気候風土があり、適した作物や農耕法があるでしょう。定住するなら近隣との関係もあるでしょう。そこに適応するための方法や心構えなら、たくさんあるはずですよ。

私たちが新しい地、新しい立場や働き、新しい人間関係などに入ってゆくときには、心配がありますから必要なことは何でも知っておきたいと思えます。また教えたいと思えます。しかし、心に留めておくべきことはそう多くはないということです。それがここにあるような、主を愛して従うということなのです。

なぜなら「天ともろもろの天の天、地とそこにあるすべてのものは、あなたの神、主のもの」だからです。

「包皮」とは律法にあることで、それを切り取ることで神の民であることとしるしとなったのでした。しかしそれも外見上のもではなく、心が重要だということです。「心の包皮を切り捨てなさい。」というのは、心から神の民としての自己像を持ちなさいということです。

私たちが自分の心が主を愛しているか、喜んで主に従っているかを考えてみましょう。そして17節以降の教えのように、主の恵みを思い起こしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 あなたはあなたの神、主を愛し、いつも、主の戒めと、おきてと、定めと、命令とを守りなさい。

11:2 きょう、知りなさい。私が語るの、あなたがたの子どもたちにはない。彼らはあなたがたの神、主の訓練、主の偉大さ、その力強い御手、伸べられた腕、そのしるしとみわざを経験も、目撃もしなかった。

11:3 これらはエジプトで、エジプトの王パロとその全土に対してなされたこと、

11:4 また、エジプトの軍勢とその馬と戦車とに対してなされたことである。・・・彼らがあなたがたのあとを追って来たとき、葦の海の水を彼らの上にあふれさせ、主はこれを滅ぼして、今日に至っている。・・・

11:5 また、あなたがたがこの所に来るまで、荒野でああなたがたのためになされたこと、

11:6 また、ルベンの子エリアブの子であるダタンとアビラムに対してなされたことである。イスラエルのすべての人々のただ中で、地はその口を明け、彼らとその家族、その天幕、また彼らにつくすべての生き物のみこんだ。

11:7 これら主がなされた偉大なみわざのすべてをその目で見たのは、あなたがたである。

11:8 あなたがたは、私が、きょう、あなたに命じるすべての命令を守りなさい。そうすれば、あなたがたは、強くなり、あなたがたが、渡って行って、所有しようとしている地を所有することができ、

11:9 また、主があなたがたの先祖たちに誓って、彼らとその子孫と与えると言われた地、乳と蜜の流れる国で、長生きすることができる。

11:10 なぜなら、あなたが、はいつて行って、所有しようとしている地は、あなたがたが出て来たエジプトの地のようにではないからである。あそこでは、野菜畑のように、自分で種を蒔き、自分の力で水をやらなければならなかった。

11:11 しかし、あなたがたが、渡って行って、所有しようとしている地は、山と谷の地であり、天の雨で潤っている。

11:12 そこはあなたの神、主が求められる地で、年の初めから年の終わりまで、あなたの神、主が、絶えずその上に目を留めておられる地である。

ここにある「あなたがた」とは、ハランの荒野でイスラエルが神に従わなかったときに、20歳以下だった人たちです。大人たちは、約束の地を攻め取りなさいという命令に従わずに、恐れからエジプトに帰ろうとしたのです。それゆえ彼らは約束に地に行く前に死んでしまいました。

当時20歳以下であった人々は、それから40年経って壮年になりました。彼らは、エジプトからイスラエルを救い出した神の偉大さ、荒野で水や食物を与えてくださった神の恵み、逆らう者を滅ぼす神の権威を目の当たりにしたのです。

その経験は、これからの人生に生かされます。すなわち神の地はすばらしいということです。そこには神の恵みがあふれているのです。だからこそ、彼らは神がどういう方か肝に銘じる必要があるのです。

神の恵みによって生きるためです。自分の力に頼って、神を計算外にして生きるのではないからです。神の恵で生きるとは、神から恵みをいただけるように生きるということです。神のすばらしさ、愛、権威をいつも覚えて、今の世も恵みで生かしてもらいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:13 もし、私が、きょう、あなたがたに命じる命令に、あなたがたがよく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くして仕えるなら、

11:14 「わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。

11:15 また、わたしは、あなたの家畜のため野に草を与えよう。あなたは食べて満ち足りよう。」

11:16 気をつけなさい。あなたがたの心が迷い、横道にそれて、ほかの神々に仕え、それを拝むことのないように。

11:17 主の怒りがあなたがたに向かって燃え上がり、主が天を閉ざされないように。そうになると、雨は降らず、地はその産物を出さず、あなたがたは、主が与えようとしておられるその良い地から、すぐに滅び去ってしまおう。

11:18 あなたがたは、私のこのことばを心とたましいに刻みつけ、それをしるしとして手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。

11:19 それをあなたがたの子どもたちに教えなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、それを唱えるように。

11:20 これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。

11:21 それは、主があなたがたの先祖たちに、与えると誓われた地で、あなたがたの日数と、あなたがたの子孫の日数が、天が地をおおう日数のように長くなるためである。

は降らず、地はその産物を出さず」となることは同じことと表されています。主に従うことは全ての恵みの元なのです。

私たちはここにあるような困難にあったとき、その解決を探ります。しかし目に見えるような原因ばかり探ることはないでしょうか。事柄の原理を調べたり、情報を見つけたり、詳しい人に聞いたりします。それらも主の秩序にありますから無知でいる必要はありませんが、それだけだと解決が見つからないことがあります。

ここには「雨が降らず、地はその産物をださず」にいたるときは、主の怒りが原因なのだと言われていて、今直面している困難に際して、今一度神様の御心はどこにあるのかを聞いてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:22 もし、あなたがたが、私の命じるこのすべての命令を忠実に守り行ない、あなたがたの神、主を愛して、主のすべての道に歩み、主にすがらなら、

11:23 主はこれらの国々をことごとくあなたがたの前から追い払い、あなたがたは、自分たちよりも大きくて強い国々を占領することができる。

11:24 あなたがたが足の裏で踏む所は、ことごとくあなたがたのものとなる。あなたがたの領土は荒野からレバノンまで、あの川、ユーフラテス川から西の海までとなる。

11:25 だれひとりとして、あなたがたの前に立ちはだかる者はいない。あなたがたの神、主は、あなたがたに約束されたとおりに、あなたがたが足を踏み入れる地の全面に、あなたがたに対するおびえと恐れを臨ませられる。

11:26 見よ。私は、きょう、あなたがたの前に、祝福とのろいを置く。

11:27 もし、私が、きょう、あなたがたに命じる、あなたがたの神、主の命令に聞き従うなら、祝福を、

11:28 もし、あなたがたの神、主の命令に聞き従わず、私が、きょう、あなたがたに命じる道から離れ、あなたがたの知らなかったほかの神々に従って行くなら、のろいを与える。

11:29 あなたが、はいつて行って、所有しようとしている地に、あなたの神、主があなたを導き入れたなら、あなたはゲリジム山には祝福を、エバル山にはのろいを置かなければならない。

11:30 それらの山は、ヨルダンの向こう、日の入るほうの、アラバに住むカナン人の地に

あり、ギルガルの前方、モレの榎の木の付近にあるではないか。

11:31 あなたがたは、ヨルダンを渡り、あなたがたの神、主があなたがたに与えようとしておられる地にはいつて、それを所有しようとしている。あなたがたがそこを所有し、そこに住みつくとき、

11:32 私がきょう、あなたがたの前に与えるすべてのおきてと定めを守り行なわなければならない。

「私は、きょう、あなたがたの前に、祝福とのろいを置く。」とあります。これは永遠の真理をも表しています。すなわち全人類にもまた祝福とのろいがあるということです。当然神様に従うなら祝福です。しかし誰も神の律法に従えませんでした。また心の記された良心にも従うことができませんでした。

全人類がのろいに定められていたのに、そののろいをイエス様があの十字架で受けてくださったのです。十字架の意味とその愛を再認識しつつ感謝しましょう。

また地上を歩むにあたって、私たちは神の真理によって行きます。主に従う場合とそうでない場合の結果が明らかに違うのだということを、しっかりと踏まえて生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 1日 金曜

### 申命記



12:1 これは、あなたの父祖の神、主が、あなたに与えて所有させようとしておられる地で、あなたがたが生きるかぎり、守り行なわなければならないおきてと定めである。

12:2 あなたがたが所有する異邦の民が、その神々に仕えた場所は、高い山の上であっても、丘の上であっても、また青々と茂ったどの木の下であっても、それをことごとく必ず破壊しなければならない。

12:3 彼らの祭壇をこわし、石の柱を打ち砕き、アシェラ像を火で焼き、彼らの神々の彫像を粉碎して、それらの名をその場所から消し去りなさい。

12:4 あなたがたの神、主に対して、このようにしてはならない。

12:5 ただあなたがたの神、主がご自分の住まいとして御名を置くために、あなたがたの全部族のうちから選ぶ場所を尋ねて、そこへ行かなければならない。

12:6 あなたがたは全焼のいけにえや、ほかのいけにえ、十分の一と、あなたがたの奉納物、誓願のささげ物、進んでささげるささげ物、あなたがたの牛や羊の初子を、そこに携えて行きなさい。

12:7 その所であなたがたは家族の者ととともに、あなたがたの神、主の前で祝宴を張り、あなたの神、主が祝福してくださったあなたがたのすべての手のわざを喜び楽しみなさい。

礼拝においては、偶像的な要素を全く取り除かなくてはなりません。「ことごとく破壊しなくてはならない。」というほどです。そうでないといった何を信じているのかが分からなくなってしまいます。私たちも、神をあがめているのか人をほめているか

が分からなくなるような礼拝にならないように、徹底的に気をつけていきたいものです。

また礼拝には「ささげもの」が必要です。それは罪のためのささげものですから、何といってもイエス様の十字架です。礼拝の中心は十字架のイエス様であることが、わかりやすく表されるようにしましょう。またささげものは、私たちから神様へのもでもあります。自分自身を主のためにささげます。その証として献金に心をこめましょう。

そして礼拝は喜びです。「祝宴を張り」とあります。実際に楽しんだのです。礼拝の後は、または聖日は家族でおいしいものを食べてもよいし、または自分へのご褒美をあげても良いでしょう。救われて神の民であることの感謝と祝いをしましょう。今は自宅での礼拝が多いでしょうから、なおのこと、ネット礼拝のあとにはこのように「喜び楽しみ」しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12:8 あなたがたは、私たちがきょう、ここ  
でしているようにしてはならない。おのおの  
が自分の正しいと見ることを何でもしている。  
12:9 あなたがたがまだ、あなたの神、主のあ  
なたに与えようとしておられる相続の安住地  
に行っていないからである。

12:10 あなたがたは、ヨルダンを渡り、あな  
たがたの神、主があなたがたに受け継がせよ  
うとしておられる地に住み、主があなたがた  
の回りの敵をことごとく取り除いてあなたが  
たを休ませ、あなたがたが安らかに住むよう  
になるなら、

12:11 あなたがたの神、主が、御名を住まわ  
せるために選ぶ場所へ、私があなたがたに命  
じるすべての物を持って行かなければならな  
い。あなたがたの全焼のいけにえとそのほか  
のいけにえ、十分の一と、あなたがたの奉納  
物、それにあなたがたが主に誓う最良の誓願  
のささげ物とである。

12:12 あなたがたは、息子、娘、男奴隷、女  
奴隷とともに、あなたがたの神、主の前で喜  
び楽しみなさい。また、あなたがたの町囲み  
のうちにいるレビ人も、そうしなさい。レ  
ビ人にはあなたがたにあるような相続地の割  
り当てがないからである。

12:13 全焼のいけにえを、かって気ままな場  
所でささげないように気をつけなさい。

12:14 ただ主があなたの部族の一つのうちに  
選ぶその場所で、あなたの全焼のいけにえを  
ささげ、その所で私が命じるすべてのことを  
しなければならぬ。

12:15 しかしあなたの神、主があなたに賜  
わった祝福にしたがって、いつでも自分の欲

するとき、あなたのどの町囲みのうちでも、  
獣をほふってその肉を食べることができる。  
汚れた人も、きよい人も、かもしかや、鹿  
と同じように、それを食べることができる。  
12:16 ただし、血は食べてはならない。それ  
を地面に水のように注ぎ出さなければなら  
ない。

12:17 あなたの穀物や新しいぶどう酒や油の  
十分の一、あるいは牛や羊の初子、または、  
あなたが誓うすべての誓願のささげ物や進  
んでささげるささげ物、あるいは、あなた  
の奉納物を、あなたの町囲みのうちで食べ  
ることはできない。

12:18 ただ、あなたの神、主が選ぶ場所で、  
あなたの息子、娘、男奴隷、女奴隷、およ  
びあなたの町囲みのうちにいるレビ人とと  
もに、あなたの神、主の前でそれらを食べ  
なければならない。あなたの神、主の前で、  
あなたの手のすべてのわざを喜び楽しみな  
さい。

12:19 あなたは一生、あなたの地で、レビ人  
をないがしろにしないように気をつけなさい。

14節までは礼拝のささげ方について、15節から  
は食事の決まりについて書かれています。約束の  
地に行ってから」が定められるということです。  
このように主への礼拝はその状況に応じた最善が  
あるのだと知りましょう。

「レビ人をないがしろにしないように」とあり  
ます。レビ族は礼拝の奉仕のためにフルタイムで  
働く人々です。礼拝とはそのような働き手が必要  
なほど重要なものです。また彼らは土地を持つこ  
とが許されませんでした。その働きに専念するた  
めです。しかも彼らのように、何かを犠牲にしま  
しても神様のために働く人々がいます。経済もそう  
ですが、学歴や仕事や人間関係もまたは貴重な時間

を主にささげて、主のために働く人は尊重さ  
れるべきです。また、今、そのように奉仕し  
ている人を応援しましょう。尊重しつつ祈り  
つつ、助けになりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど  
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12:20 あなたの神、主が、あなたに告げたように、あなたの領土を広くされるなら、あなたが肉を食べたくなったとき、「肉を食べたい。」と言ってよい。あなたは食べたいだけ、肉を食べることができる。

12:21 もし、あなたの神、主が御名を置くために選ぶ場所が遠く離れているなら、私にあなたに命じたように、あなたは主が与えられた牛と羊をほふり、あなたの町囲みのうちで、食べただけ食べてよい。

12:22 かもしかや、鹿を食べるように、それを食べてよい。汚れた人もきよい人もいっしょにそれを食べることができる。

12:23 ただ、血は絶対に食べてはならない。血はいのちだからである。肉とともにいのちを食べてはならない。

12:24 血を食べてはならない。それを水のように地面に注ぎ出さなければならない。

12:25 血を食べてはならない。あなたも、後の子孫もしあわせになるためである。あなたは主が正しいと見られることを行なわなければならない。

12:26 ただし、あなたがささげようとする聖なるものと誓願のささげ物とは、主の選ぶ場所へ携えて行かななければならない。

12:27 あなたの全焼のいけにえはその肉と血とを、あなたの神、主の祭壇の上にささげなさい。あなたの、ほかのいけにえの血は、あなたの神、主の祭壇の上に注ぎ出さなければならない。その肉は食べてよい。

12:28 気をつけて、私が命じるこれらのすべてのことばに聞き従いなさい。それは、あなたの神、主がよいと見、正しいと見られるこ

とをあなたが行ない、あなたも後の子孫も永久にしあわせになるためである。

12:29 あなたが、はいって行って、所有しようとしている国々を、あなたの神、主が、あなたの前から断ち滅ぼし、あなたがそれらを所有して、その地に住むようになったら、

12:30 よく気をつけ、彼らがあなたの前から根絶やしにされて後に、彼らにならって、わなにかげられないようにしなさい。彼らの神々を求めて、「これらの異邦の民は、どのように神々に仕えたのだろう。私もそうしてみよう。」と言わないようにしなさい。

12:31 あなたの神、主に対して、このようにしてはならない。彼らは、主が憎むあらゆる忌みきらうべきことを、その神々に行ない、自分たちの息子、娘を自分たちの神々のために、火で焼くことさえしたのである。

12:32 あなたがたは、私あなたがたに命じるすべてのことを、守り行なわなければならない。これにつけ加えてはならない。減らしてはならない。

肉を食べることについては自由であると、神の御心です。神様は人を縛る方ではなく、自由を与えてくださり、楽しむようにして下さる方です。しかし、大切なことはしっかりと指導なさいます。すなわち血に関してです。これは血に命があるからという表現がなされている箇所があります。血を尊いものとして、特別視する必要があります。それは何よりも、イエス様が十字架でん流された血についての理解につながるものです。イエス様の血潮が理解されるために、神様はイスラエルを教育したのでした。このように私たちもイエス様の十字架に関しては、正しいイメージを持つように努める必要があります。その尊さのイメージ

を損なわないように、表現にも気をつけ、さらにさらに十字架があがめられるようにしましょう。

偶像に関しては「わなにかからないように」とあります。気を抜くと、知らず知らずに偶像的な感覚が身についてしまいますから、よくよく注意しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

